

2015年
10月24・25日
(土・日)

2015年度 秋の講演会（新潟市朱鷺メッセ）のご案内

講演会テーマは「大地の芸術祭と人々」

2000年から始まり、今夏で第6回を迎える「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」は去る7月26日から始まりました。8月10・11日と、私も見に行きましたが、お盆の週ということもあってか、開催地で宿泊できず、また外国人らしき人々も含め、多くの見学者を見かけました。

これらの大規模アート・トリエンナーレがどのような影響を地域社会に及ぼしたかは、文化経済学として大きなテーマです。芸術祭終了後の秋、出品アーティスト、現地で携わるかた、研究者を交えて振り返るシンポジウムと、現地見学会のエクスカージョンを企画しました。

内容は下記の予定です。

1. 日程 2015年10月24日（土） 15～17時 シンポジウム「大地の芸術祭と人々」
18～20時 懇親会（魚沼釜蔵）
2015年10月25日（日） 大地の芸術祭・水と土の芸術祭エクスカージョン
2. 会場 シンポジウム会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 中会議室 301（新潟市中央区万代島 6-1）
（会場 URL：<http://www.tokimesse.com/>）
3. 参加費 参加費：一般1,000円、学生500円
4. シンポジウム内容 パネラー：寺尾 仁（新潟大学工学部准教授）
鷺見英司（新潟大学経済学部准教授）
村木 薫（彫刻家、大地の芸術祭参加アーティスト）
水落静子（うぶすなの家主宰者）
司 会：澤村 明

パネラーのうち、寺尾と鷺見は、昨年出版した澤村編著『アートは地域を変えたか 越後妻有大地の芸術祭の13年：2000-2012』（慶應義塾大学出版会）の共著者です。寺尾は大地の芸術祭の準備段階から開催まで、地元の人たちの反応を調べ、人々がどのように変容したかを考察するという、定性的な研究を行なっています。一方の鷺見は、ソーシャル・キャピタルを調べることで、地域社会の人々の「つながり」にどのような変化が起きたか、定量的な調査を行なっています。定性・定量両面から大規模芸術祭が地域社会に与えた影響を論じます。

参加アーティストの村木さんと、常設アートであり、食事処でもある「うぶすなの家」を切り盛りしている水落さんにも登壇していただきます。村木さんは2000年以来、松代の民家等の土壁を修復するプロジェクトを毎回手がけており、芸術祭の変化や住民の受容なども語っていただけると期待しています。

水落さんは「うぶすなの家」がある集落の農家のかたです。1924（大正13）年に建てられた萱葺農家を、2006年開催時に「空き家プロジェクト」の一つとして改修し、やきものミュージアム兼農家レストランにして、会期以外にも営業しています。水落さんはその主宰者で、自分たちの作った米や農産物を料理して提供し、地産地消の場所としています。

研究者の分析は的を射ているのでしょうか。会場が新潟市内であることから、新潟市域の「水と土の芸術祭」についても、それぞれの感想などを出し合い、大地の芸術祭との異同、相乗効果などを議論したいと考えています。

5. 懇親会 会場：魚沼釜蔵（新潟市中央区花園 1-96-47 CoCoLo 西館 1F：新潟駅直結）
<http://www.sep-i.co.jp/niigata/>
参加費：一般4,500円、学生3,500円
※シンポジウム会場からの移動は、路線バス等を御利用ください

6. エクスカーション

新潟駅前を出発し、新潟市内の「水と土の芸術祭」関連施設を見た後、十日町地域の「大地の芸術祭」常設アートを巡ります。サプライズを考えています。人数に限りがありますので、申し込みはお早目をお願いします。

参加費 一般 3,000 円 学生 2,000 円

参加定員 40 名

なお新潟市は観光では有名ではありませんが、専属コンテンポラリーダンスユニット「ノイズム」を擁する新潟市民芸術文化会館「りゅーとぴあ」(エクスカーション予定)、明治期の県議会庁舎「新潟県政記念館」、『文化経済学』第7巻第2号で紹介した旧齋藤家別邸、芸妓の歩く古町花街などが会場から歩いて回れます。

<会場アクセス>

住所：〒950-0078 新潟市中央区万代島 6-1
朱鷺メッセ
(TEL:025-246-8400 FAX:025-246-8411)

会場へのアクセス：

<http://www.tokimesse.com/visitor/access/>

シンポジウム会場と新潟駅の間のバス時刻表は下記 URL からご確認ください(当日までに変更の可能性あり)

<http://www.niigata-kotsu.co.jp/noriai/kisen.shtml>

■新潟駅から朱鷺メッセまで

- ⇒路線バス(万代口バスターミナル3番線 佐渡汽船線、朱鷺メッセ停車) 約15分
- ⇒タクシー 約5分
- ⇒徒歩 約20分

■新潟空港から

- ⇒タクシーで朱鷺メッセまで 約20分
- ⇒リムジンバス(新潟駅南口まで) 約25分

■北陸自動車道新潟西 I.C から

- ⇒新潟バイパス経由 約12キロ
(紫竹山 I.C を利用) 約20分

(文責：澤村 明)

●エクスカーション：スケジュール

アートディレクターの北川フラムさんが、行程の一部でガイドをさせていただきます。開催まで、開催中の裏話など、聞けると期待しています。

8:45 新潟駅南口出発(場所は後述)

りゅーとぴあ(新潟市民芸術文化会館) 見学は短時間です

11:15 頃 うぶすなの家(パネリストの水落さんが切り盛りしています)

12:00 頃 まつだい農舞台(昼食：各自負担。1500円程度)

その後、周辺の作品をバスから見ます

パネリストの村木さん作品含みます。

14:00 頃 最後の教室

15:00 頃 キナーレ

十日町駅 15:58 発の**ほくほく線六日町行き**に乗る方を送ります。

(六日町、越後湯沢で乗り継いで 18:00 東京着)

17:30 新潟駅(降りの方がいらっしゃる場合)

18:00 新潟空港着

<集合場所>

新潟駅南口臨時バス乗り場。

下記 URL の「臨時バス乗り場」と記載されている場所です。目の前の建物は、北側にビックカメラ、東側にジュンク堂が入っています。

<http://www.niigata-kotsu.co.jp/~noriai/brt/brt/noriba/eki-minamiguchi.pdf>

